

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	【上位目標】対象地の妊産婦と新生児の健康状態が改善される。 今年度は事業一年目として、妊産婦と新生児の健康状態の改善のための環境整備や人材育成を重点的に行った。2つのコミュニケーション保健センターの産科室の増設や郡病院の産科手術室の改修、2コミュニケーション保健センターと2郡病院と省病院の新生児ケアユニットへの必要備品や機材の供与を行ったことで保健サービスを利用する妊産婦や新生児がより安全で清潔なサービスを受けることが可能になった。 のべ105人の保健スタッフに対して妊産婦・新生児ケアに関する臨床技術研修を行うことで、妊産婦と新生児を含む患者に対してより適切な処置を提供することが可能になっている。160人のBCCコミュニケーション・スキルの研修を行い、啓発活動を通して地域住民に対し妊産婦と新生児の健康に関する情報の提供やカウンセリングを行い、住民たちが保健サービスを自主的に利用し、自らの生活の中で健康改善を心掛けるよう促している。 事業一年目の期間に、224人の産婦が保健施設において出産を行った（全体の26%、去年より3%増）。以上の活動を通して本事業は、事業地の妊産婦と新生児の健康の改善に貢献した。二年次は、一年次の成果をさらに拡大し、上位目標達成に向け事業の実施を行う。
(2) 事業内容	<u>イ)対象地域の省・郡・コミュニケーションの保健施設の改善を行う。</u> ● 既存の保健施設の改修 ● 保健施設の産科ケアに関する機材の供与 ● 省立母子保健センター・郡病院における新生児ケアユニットの設置 ● 省立母子保健センター・郡病院の包括的な緊急産科体制を整えるための輸血システムの整備 <u>ロ)住民の妊産婦・新生児ケアサービスへのアクセスを向上させる。</u> ● 出産介助者チーム(村落出産介助者・村落保健員・女性連合組合員)の編成 ● 村落での保健スタッフ、村落保健員、村落出産介助者による巡回サービス(妊産婦・新生児ケア)の実施 ● コミュニティにおけるリファラル体制の構築 <u>ハ)郡・コミュニケーション・村落レベルの保健スタッフの妊産婦・新生児ケアに関する知識・スキルを向上させる。</u> ● 参加型手法による各レベルの保健スタッフの研修計画の作成 ● 特定の医師に対する妊産婦・新生児ケア（産前産後ケアや通常分娩を含む）のTOT研修

	● TOT 研修を受けた医師による他の医師と保健スタッフに対する妊産婦・新生児ケア（産前産後ケアや通常分娩を含む）の実施 ● 特定の医師と保健スタッフに対する新生児ケアの研修 ● 特定の医師と保健スタッフに対する包括的な緊急産科ケアの研修 ● 特定の医師と保健スタッフに対する新生児特定集中ケアの研修 ● 特定の医師と保健スタッフに対する産婦人科ケアの研修 ● 病院医師と保健スタッフに対する輸血システムの研修 <u>二)適切な妊産婦・新生児ケアの継続的实施をモニタリングするためのサポートタイプ・スーパーバイズ・システムの強化を行う。</u> ● スーパーバイズ・チームの再編成 ● チームに対する、M&E(モニタリング・評価)研修実施 ● 妊産婦・新生児ケアサービスへのスーパーバイズの実施 <u>ホ) 保健スタッフや村落保健員、村落出産助産者の妊産婦・新生児ケアにおける行動変容コミュニケーション (BCC) の知識・スキルの改善を行う。</u> ● 参加型手法による保健スタッフ、村落保健員・村落出産助産者、女性連合組合員の BCC 研修計画の作成 ● 郡レベルの保健スタッフによる BCC トレーナー・チームに対する BCC 技術の TOT 実施 ● TOT を受けた BCC トレーナーによる他の保健スタッフや村落保健員、村落出産助産者に対する BCC 技術の研修実施 <u>ヘ)妊産婦や保護者への、妊産婦・新生児ケアに関する知識の普及を目指す。</u> ● 妊産婦や保護者に対する KAP(知識・態度・行動)調査の実施 ● コミュニティにおける「BCC 実施計画の作成ワークショップ」実施 ● BCC を促すビラ、ポスター、冊子等の作成、配布 ● 各村落における「保健クラブ」の立上げ ● 妊産婦や保護者に対する、BCC 手法による啓発活動の実施 ● 妊産婦や保護者の行動変容をモニタリングするための家庭訪問の実施 添付資料①事業内容、事業の成果に関する写真を参照 添付資料⑤活動内容詳細報告書を参照
--	---

(3) 達成された成果	2014 年 1 月 31 日 時点 【成果 1】対象地域の郡・コミュニティ・村落レベルで、妊産婦・新生児ケアサービスが提供できるようになる。(活動イ、ロ) <u>指標</u> ● 地域の 2.6 割の妊産婦が施設で分娩を行うようになった。(事業終了時の目標：3 割) ● 事業対象の 20 村落でコミュニティ・リファラル体制が設置され、利用されるようになっている。(事業終了時の目標：62 村落) 【成果 2】対象郡、コミュニティおよび村落における通常時及び緊急時の妊産婦・新生児ケアサービスの質が向上する。(活動ハ、ニ) <u>指標</u> ● 本事業で研修を受けた郡・コミュニティ保健スタッフの 10 割が、基準で求められている通常分娩と緊急産科ケアについての知識を有するようになった。(事業終了時の目標：7 割) ● 2.6 割の郡・コミュニティの保健スタッフが、モニタリング・評価の知識を有するようになった。(事業終了時の目標：8 割) 【成果 3】対象地域に住む母親や保護者が適切な妊産婦・新生児ケアを実践できるようになる。(活動ホ、ヘ) <u>指標</u> ● BCC コミュニケーターの 8.7 割が妊産婦・新生児ケアにおける BCC についての知識と技術を有するようになった(事業終了時の目標：7 割) ● BCC 啓発を受けた 3.7 割の地域住民が、妊娠・出産期において妊産婦と保護者が注意すべき点を 3 つ以上挙げられるようになった。(事業終了時の目標：5 割) ● BCC 啓発を受けた 6 割の地域の女性が、妊娠・出産・産後期間中における 3 つ以上の危険サインを挙げられるようになった。(事業終了時の目標：7 割) ● BCC 啓発を受けた 7.5 割の地域の女性が、新生児の危険サインを 3 つ以上挙げられるようになった。(事業終了時の目標：7 割)
(4) 持続発展性	①本事業で改修、整備された施設や機器材は各保健施設に移譲され、ディエンビエン保健局の責任監督のもとで維持管理を行う。事業開始後にディエンビエン保健局と施設運営や維持管理の責任の項目を含めた覚書を交わした。 ②事業では、現地保健スタッフに対し、TOT 形式 (Training of Trainers—研修生をトレーナーとして養成する研修手法) の研修を行っている。TOT は研修生自身が下位の保健スタッフに研修を行うことを通して、研修生自身の技術や能力の向上、またコミュニケーション能力の強化も目指す。すでに当事業活動として TOT を受けた保健スタッフがトレーナーになり、郡病院に戻り他の保健スタッフに研修を実施している。事業の終了後も下位の保健スタッフをまと

	め、育てていくリーダーとして育成されつつあり、事業終了後も継続して病院内で同様の研修が実施される予定である。 ③事業終了後も、妊産婦・新生児ケアのサービスの質向上のために、郡・コミュニンの保健スタッフによる「サポーター・スーパーバイズ・システム」を実施している。今後はサポーター・スーパーバイズ・システムを強化し、サービスの質向上のみならず、施設や資機材の使用や維持管理についてのモニタリングも行ってもらおう。 ④事業実施地域で 2010 年より、WV の自己資金で 15 年計画の総合的な地域開発プログラム（以下 ADP—保健、教育、人材育成/所得向上）を行っている。そのため本事業終了後も WV が、本事業の効果が継続及びさらに広く浸透し、妊産婦と新生児の健康改善が対象地域で確実に進んでいるか、定期的にモニタリング、フォローアップする予定である。
--	---